

Sustainability Report 2022





常盤工業株式会社 代表取締役社長

市川 浩透

代表メッセージ

「地球に優しい」「人に優しい」「社会に優しい」

常盤工業は3つの「優しい」をキーワードにサステナブルな未来を創造していきます

常盤工業は、戦後の復興期昭和 26 年に設立以来、建物やインフラ創りを通じて地域の発展に貢献してきました。明るい未来を信じて社員一同必死に努力をしてきましたが、少し立ち止まって自分たちの進むべき方向を考えなければいけないフェーズになってきたように思います。気候変動への懸念、資源の枯渇化、少子高齢化社会の到来、格差の広がりなど、我々を取り巻く課題がより深刻化し「なりふり構わずに頑張る」のみでは社会の課題を解決できない状況になってきました。地球が、人が、社会が、悲鳴を上げています。

時代の必然として「サステナブル（持続可能）」という言葉が脚光を浴びています。我々現役世代の責任として、次世代を担う子どもや若者が未来に希望を持てる「サステナブルな社会」にしていかなければならないと思います。そこに向けて、私たち常盤工業は「優しい」というキーワードを掲げました。

「地球に優しい」 事業活動での CO2 発生を抑制し、できる限り資源を再利用するインフラ創りに取り組むこと。

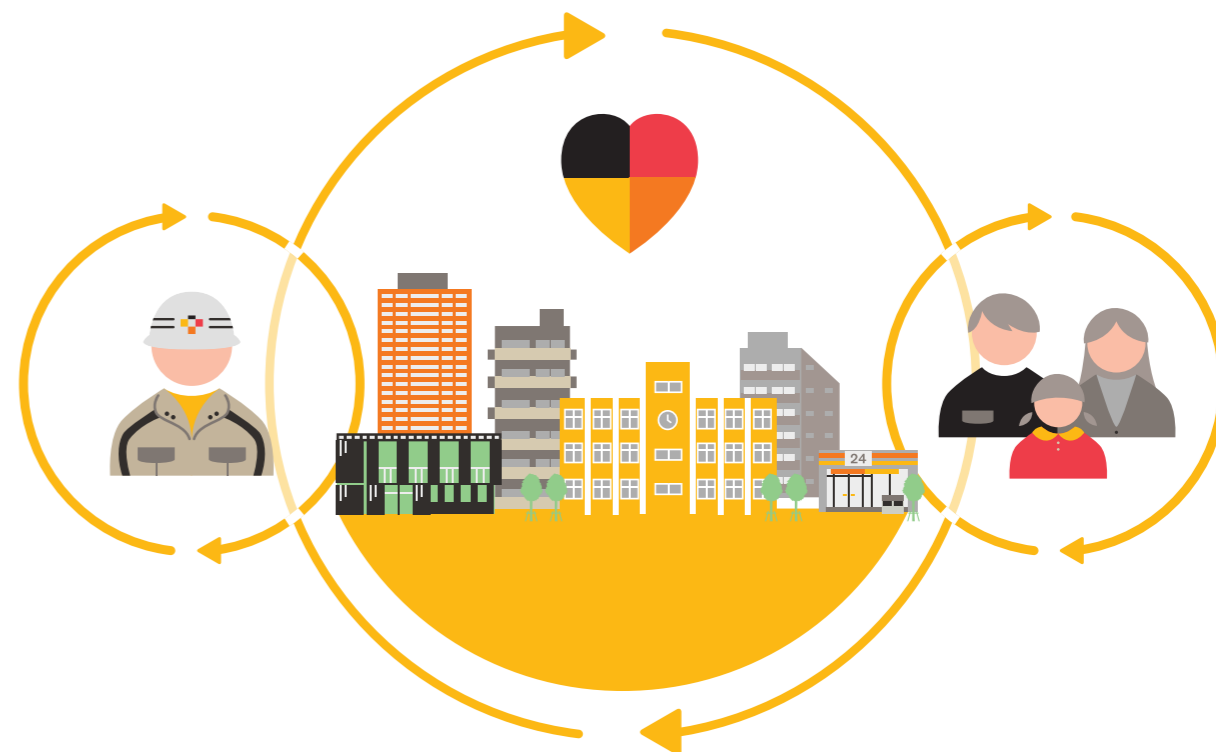
「人に優しい」 社員、お客様、取引先様などのステークホルダーの真の幸せを追求し、快適なビジネス空間や居住空間を創造すること。

「社会に優しい」 地域コミュニティを構成する一員として、地域社会の課題解決に取り組むこと。

「地球に優しい」「人に優しい」「社会に優しい」をキーワードに企業活動を推進することが、サステナブルな未来を創造していくことになると私たちは確信しております。

人と地球が共存できる社会を実現し、今よりも素晴らしい未来を次代に引き継いでいく…。

これが「新しい建設会社」のあるべき姿だと思います。常盤工業は「新しい建設会社」を目指していきます。



社是

自利 利他

- ①自分を磨き、功德を自らが受け取ること
 - ②自分以外の他者の為に尽くし、他者を利すること
- この二つのことを実現していくという意味です。

ビジョン

地域に愛され 社員が誇れる 会社を目指す

「利他」の積み重ねにより、地域から愛され尊敬される存在になり、顧客が溢れるようになる。またそのことが「自利」につながり、従業員が各人の人生を懸けるにふさわしい職場環境が整備され、「当社の一員であることが誇りに思える」ようになる。そんな、魅力的でありかつ立派な会社を目指します。

トキワの情報発信と交流

トキワの事業や活動をステークホルダーの皆さまにお伝えしているツールをご紹介します。

WEB



コーポレートサイト



リクルートサイト



住宅サイト





イベント

ときはまスクエア[®]で実際に行うイベントや、オンラインで開催するものもあります。



※ときはまスクエア
トキワ本社+浜松磐田信用金庫野口支店・曳馬支店からなる敷地一帯の名称。

← 広く 情報の性質 深く →

紙媒体



会社案内



TOKI PORT
パンフレット



サステナビリティ
レポート(本誌)



RE;TA



ときtoわ
(住宅会報誌)

SNS



常盤工業
Instagram, YouTube, Facebook



ときはま
Instagram, YouTube

このレポートについて

このレポートは、常盤工業株式会社の持続可能な社会実現に対する考え方を示し、またそれに基づき未来へ続く1年ごとの活動内容や結果を報告するものです。また、私たち自身で自らを検証し、社会から私たちを評価・指摘していただけるツールと捉えています。街づくりを担う建設会社として、ステークホルダーの皆さまとの真摯なコミュニケーションが事業活動や社会貢献活動の価値創造力を高める原動力との考えで編集を行います。

目次

p1	代表メッセージ	p7~8	地球に優しい
p2	企業理念	p9~10	人に優しい
p3	目次 / このレポートについて	p11~12	社会に優しい
p4	SDGs 行動計画 & 結果	p13	ステークホルダー評価
p5~6	年間ハイライト	p14	編集後記

対象期間

対象期間：2021年10月1日～2022年9月30日
(一部のデータは、上記の対象期間と異なります)

用語について

本レポートで使用している「ステークホルダー」「お客様」には、直接の利害関係に関わらず当社が関わった建築物や各種インフラのご利用者など影響を受けるすべての人々が含まれます。

2022年9月期 SDGs 行動計画 & 結果

トキワが取り組んでいるSDGs 行動計画、またその結果を3つの項目に分けてご紹介いたします。

01 地球に優しい



大目標

脱炭素、省エネルギー社会を実現して、温暖化を防止する。そのため、①地球環境配慮型建築物の啓蒙と普及を行う。②事業上の使用エネルギー及びCO2 排出量を削減する。また限りある資源を有効活用する建物再生事業を進展させる。

2022年9月期の計画

2022年9月期の計画	結果
新社屋の団体及び個人の見学受入れ	◎
ZEB 設計提案を1件以上、受注を1件以上	○
新社屋のCO2 排出量を標準事務建物比75%削減	◎
環境経営目標12項目のうち、10項目について100%以上達成	×
事務所(本社、和田モデルハウス)での再生エネルギー購入先を選定	○
CS 再生事業部受注金額 7.3 億	△
長期優良住宅提案 50 件、実績 80% 以上	△

02 人に優しい



大目標

経営目的「全従業員の物心両面の幸福を実現する」ため、①身体、心、お金を含めた健康経営を推進する。また建設会社として、②人が快適に豊かに過ごせる施設やインフラの維持拡大に努めながら、建設業としてカバーできない③ソフト面の課題においても積極的な社会貢献活動を行う。

2022年9月期の計画

2022年9月期の計画	結果
従業員への健康情報発信やセミナー実施 各種制度・体制(社外相談、安衛委員会など)の維持発展	○
有給休暇取得率向上のためアニバーサリー有給休暇の奨励をスタート	○
新社屋へ移転し従業員にも建物の快適性を実感してもらう 移転を機にフリーアドレスの導入(一部除く)	○
女性技術職 8名→10名 女性休養室及び休憩室の設置	○
公益性の高い施設の新築及び改修工事の受注	○
チャリティーサンタの支援、ホワイトリボンランの支援を継続	○

03 社会に優しい



大目標

地域コミュニティを構成する一員として社会と交流して、①積極的に社会貢献活動を行う。また社会基盤の構築を担う建設会社として、②我々の仕事が生み出していく価値をしっかりと伝えていくこと、そして③ステークホルダーの皆さまと共に持続可能で賑わいある街づくりを行っていく。

2022年9月期の計画

2022年9月期の計画	結果
新社屋を活用した各種イベント、セミナーなどの実施 地域コミュニティとの連携実施	○
教育機関の社屋見学を積極的に受け入れる	○
SDGs に関する講座、ワークショップ、説明会の実施を5回以上行う	◎
地域への工事見学会を積極的に行う	◎
会社として積極的に社会貢献活動を行う	○
ボランティア休暇制度の利用が年間10件以上を目指す	△

年間ハイライト

2021年10月

2022年3月

2022年4月

2022年9月

自社の取り組み

『RE;TA』創刊



1月

SDGs 推進委員会発足

12月

新社屋「ときポート」竣工



6月

ときはまフェス



テレビ放映の映像

8月

小学生向け社屋見学会
「オフィス探検でSDGsをみつけよう！」
の様子がテレビ放映

外部交流・評価

12月

浜松市消防団中区支団
第3方面隊の訓練に本社敷地を提供



3月

ホワイトリボンラン参加、
協力、Instagram 募金企画



9月

看板デザインプロジェクト
(八幡中×文芸大)



12月

市川サンタ出動
(チャリティーサンタ協力)



3月

浜松市 CSR 活動 優秀賞
Star Prize 制度マイスター認定(1つ星)



仕事



1月

浜北第3分団庁舎・北浜小学校
放課後児童会複合施設整備工事

2月

まつばこども園 新築工事
(キッズデザイン賞)



6月

令和3年度浜松市優良工事 表彰
優良工事3件 優秀技術者1名

各種現場見学会
(三ヶ日保育園など)



01 地球に優しい



大目標

脱炭素、省エネルギー社会を実現して、温暖化を防止する。そのため、①地球環境配慮型建築物の啓蒙と普及を行う。②事業上の使用エネルギー及びCO2排出量を削減する。また限りある資源を有効活用する建物再生事業を発展させる。



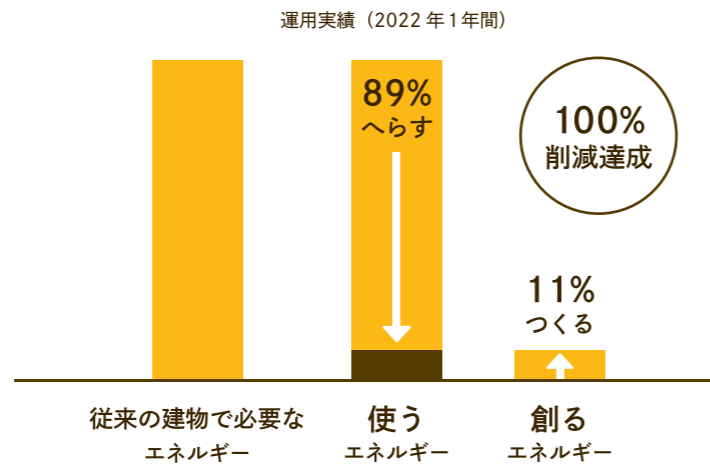
新社屋 TOKIPOINT 完成

ZEB (ゼロ・エネルギー・ビル) を目指した環境配慮型の社屋が完成しました。新社屋で実現した省エネルギー & 省 CO2 技術を地域へ波及させることで、地球への優しさを実現させていきます。



一次エネルギー消費の削減

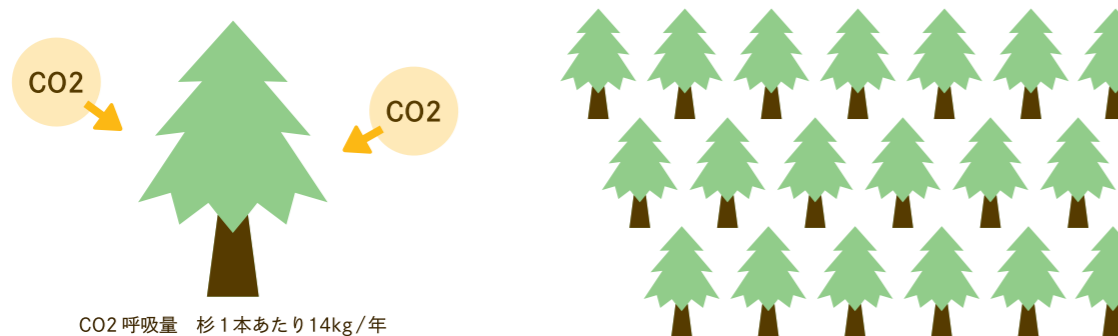
建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを2022年1年間で実現。「ときポート」は使用エネルギーを大幅に減らすことに成功しました。そもそものエネルギー負担を減らしながら足りない部分を太陽光発電で創エネしています。



CO2 排出量削減

省エネ 155,619 kg/年 + 創エネ 20,983 kg/年 =

CO2 排出量削減 176,602 kg/年 = 杉 12,614 本分の植林と同等



ZEB の普及

常盤工業の ZEB「ゼブ」は、省エネルギー&省 CO2 で地球環境を最大限に考えながらも人がイキイキと心地よく過ごせる建物を目指します。居住の快適さという建築物本来の目的を大切にしているため人にも優しい。そんなトキワの「心地いい ZEB」を今後積極的にお客様へ提案して参ります。



環境配慮型建築物の公開

社屋見学 285 団体 / 1200 人超 (2022年1月-9月実績)

地球に優しい建物を普及させるには、まず知ってもらうことが大切という考えのもとで沢山の見学来場を受け入れています。地球への優しさと人への優しさを両立した建物を体感できることが大変ご好評を頂いています。特に未来を担う子供たちの見学は積極的に受け入れており、県外からも含めて研修・修学旅行先の一つとして「サステナブル・ツーリズム」の先駆的事例ともなっています。

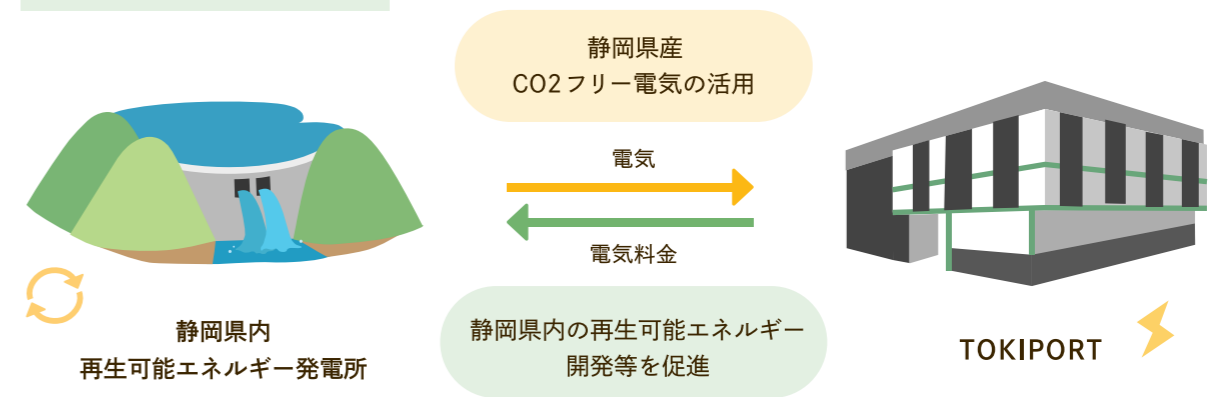


CO2 フリー電気契約

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんし、太陽が出ていないときは太陽光発電をすることもできません。しかし、地球温暖化防止の観点から、CO2 削減により寄与すべく CO2 フリー電気「静岡 Green でんき」を中部電力ミライズ(株)と契約をしました。これにより当社屋での収支 CO2 排出量を削減するだけでなく、支払い電気料金が再生可能エネルギー開発を促進します。



「静岡 Green でんき」とは？



02 人に優しい



大目標

経営目的「全従業員の物心両面の幸福を実現する」ため、①身体、心、お金を含めた健康経営を推進する。また建設会社として、②人が快適に豊かに過ごせる施設やインフラの維持拡大に努めながら、建設業としてカバーできない③ソフト面の課題においても積極的な社会貢献活動を行う。

公益性の高い施設

当社では保育、福祉、医療等の公益性の高い施設を建設、維持修繕することで地域の皆さまがより暮らしやすい環境実現へ貢献していきます。今年度も複数の保育施設新築や多数の保育、福祉、医療等の施設で維持修繕工事を行わせて頂きました。

主な新築施設



ヒーローズさなご保育園



ヒーローズこさい保育園



まつばこども園

©ToLoLo studio

チャリティー・支援活動

建設会社としてインフラ整備というハード面での価値提供を行う一方で、本業では成しえないソフト面での社会貢献をチャリティー・支援活動を通じて行っております。特に当社の手掛ける施設との連動性が高いものを中心に活動しています。

ホワイトリボンラン

妊産婦を中心とした女性の健康改善を目指した活動へ参加しています。浜松拠点のランイベントへの出場や Instagram を活用した募金企画を実施することで、身近な女性の健康や子育て環境を考える機会創出を図っています。



社員とその家族 12 名がランに参加



Instagram 投稿企画では 233 投稿 23,300 円を寄付 (国際協力 NGO ジョイセフへ)

女子野球支援

全国大会にも出場

女子中学生・小学生の軟式野球チーム「浜松リッターズ」の支援を行っております。男子・女子のスポーツ選択の機会均等や運動習慣の定着による健康増進効果を期待しています。



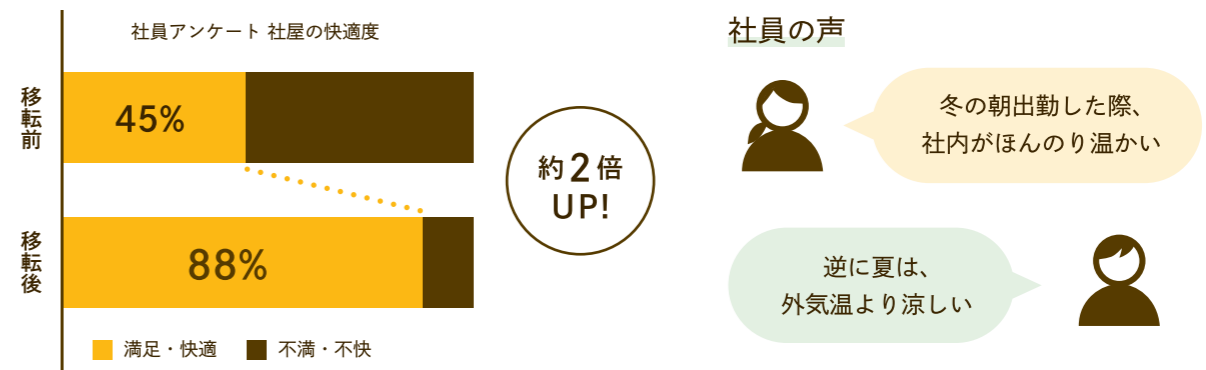
チャリティーサンタ支援

未来を担う子供たちに夢を届けたいとの思いで社長の市川が率先してサンタになり協力をしています。この支援を通して、建設会社として魅力ある街づくりをして子供たちが将来に希望を持てるようにしていきたいと改めて気づかされる活動です。



社屋の快適性

常盤工業は建物の本来の目的である人が人間らしく活動できる居住の快適性を見失わずに追及していきます。社屋では地球環境のみでなく社員満足度も大幅に向上しました。



社員の幸せ

社員が心身ともに幸せでいることが、能力をフルに発揮して仕事を行うことになり、それがお客様や仲間の価値へつながり、お客様や仲間へ役立てていることから充実感を得る。この幸せ循環の起点である「社員の幸せ」を実現するべく、様々な取り組みを行っています。

有給休暇取得率

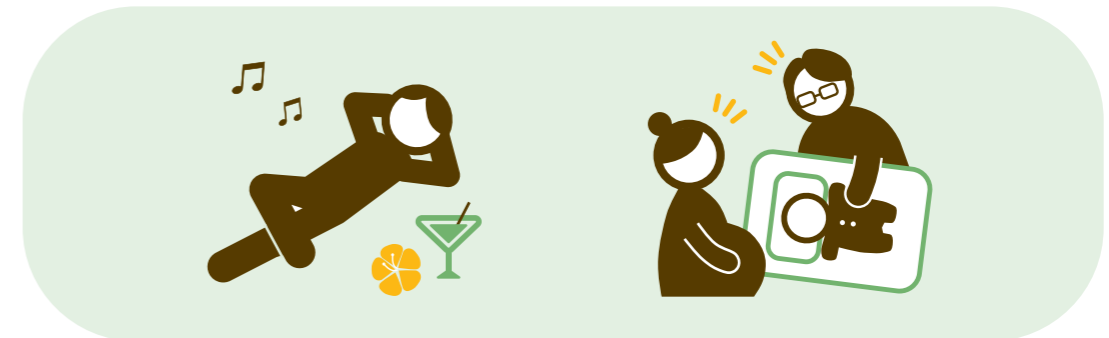
60.7% から 64.0% へ UP!

プライベートタイムも充実させるべく有給休暇取得率向上へ努めています。

育児休業・産前産後休業

男性社員も育休取得しています

子育てに集中できる環境を後押ししています。男性・女性が一緒に子育てできるように男性社員の育休取得も推進中です。



健康経営

福利厚生としてのスポーツクラブ利用促進、産業医による健康相談、社外相談窓口（女性社労士）の設置、新入社員のケアとしてメンター制度の導入など、心身共に社員が健康であることを目指して健康経営を促進しています。令和 3 年度には静岡県より「健康づくり活動に関する知事褒賞」を頂きました。



03 社会に優しい



大目標

地域コミュニティを構成する一員として社会と交流して、①積極的に社会貢献活動を行う。また社会基盤の構築を担う建設会社として、②我々の仕事が生み出していく価値をしっかりと伝えていくこと、そして③ステークホルダーの皆さまと共に持続可能で賑わいある街づくりを行っていく。

様々な地域交流イベントを開催

常盤工業新社屋「TOKI PORT (ときポート)」と浜松いわた信用金庫野口支店・曳馬支店が併設する新エリアを「ときはまスクエア」と名付けて、地域との交流を行っています。コミュニティの一員として地域課題に皆さまと一緒に取組む一方で、働く場としてのオフィスにそれ以外の新たな空間価値の実験場としていくことで建設会社として新たな価値提案を図っていきます。

ときはまフェス 2022

「ときはまスクエア」完成オープニングイベントとして、ラジオの公開放送、マジックや音楽ライブステージ、トークショー、セミナー、マルシェなどを開催しました。2日間で多くのご来場を頂きたくさんの笑顔に溢れていました。コロナウィルスにより遠ざかっていた「楽しい」体験そのものにも価値があることだと感じさせられました。これから様々なイベントで地域と交流を行っていきます。



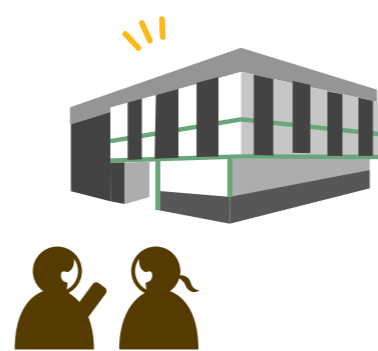
新しい空間価値創造

オフィス



新

地域交流の場



工事見学会

当社では土木工事を中心に多くの公共インフラ工事を行っています。社会を支えている縁の下の力持ち的存在のため、一般の人々にはなかなか知られていないことも多くあります。工事見学会を開催することで、生活を支える公共インフラの価値を少しでもお伝えできるようにしています。

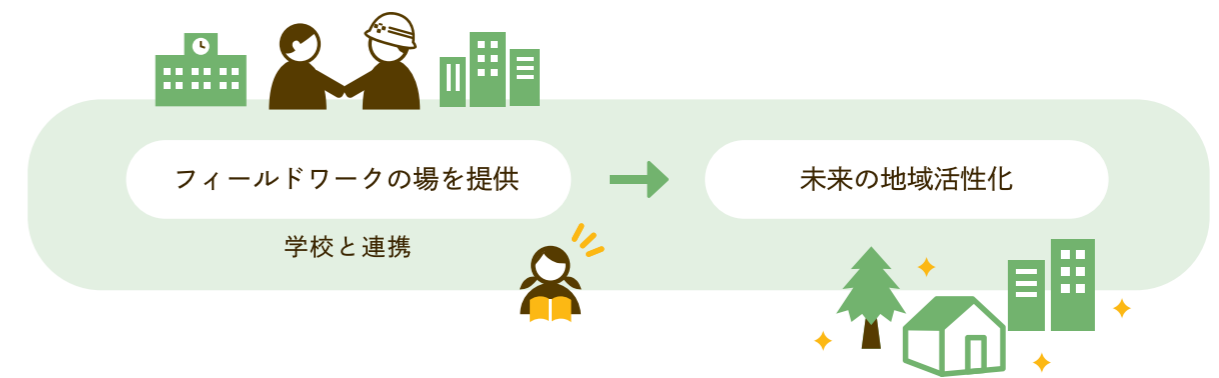


教育機関との連携

地域に根ざす建設会社として街の活性化のために、未来を担う子供たちの教育は何より大切だと考えております。そのため教育機関との連携を深め、企業だからこそできる教育機会の提供を積極的に行っております。

看板デザインプロジェクト (八幡中学校と静岡文化芸術大学との連携)

地域の景観に調和した当社倉庫棟の看板にしたいとの思いから、地元の八幡中学校美術部の生徒さんと静岡文化芸術大学のコラボレーションで実現したプロジェクトです。中学生には未経験のデザイン技法に触れながら地元大学へ興味を持つ機会ともなり、大学生にはフィールドワークの場を提供することができました。



SDGs 講座

SDGs for school 認定エデュケーターの資格を持つ社員が、多くの学校へ SDGs 講座を行っております。学校への出張授業もありますが、社屋見学と組み合わせたサステナブルオフィスツアーが好評を頂いており、市外や県外からの修学旅行や研修旅行の候補地ともなっています。



CSR 活動マイスター認定

当社の社会貢献活動が浜松市より評価を頂き、浜松市 CSR 活動表彰の優秀賞を3度受賞したことから「Star Prize 制度」のマイスター認定を受けました。今後もより社会へ貢献できる企業となるように努めていく所存です。



ステークホルダー評価

静岡文化芸術大学 文化政策学部
文化政策学科 教授

曾根 秀一 氏

研究分野：経営戦略論、グローバルビジネス論、地域ビジネス論、
中小企業論など



企業の長寿を支える主要条件は、存続に価値を置き、土着産業、企業として地域、社会から必要とされることです。こうした前提条件も相俟って、近年、経営学、とりわけファミリービジネス、長寿企業の研究において、国内外問わず注目される分析視角に社会情緒的資産理論（socio-emotional wealth、以下 SEW）があります。この SEW 理論とは、金銭的な経済合理性よりも非財務的効用を優先し、社会的認知や情緒的動機に導かれた意思決定を通じて長期存続を果たすことを指し、地域のステークホルダーとの関係を重視してきたものとして知られます。

まさに常盤工業は、1926（大正 15）年の創業以来、三代にわたって「自利 利他」を社是に掲げ、浜松の地域、人々とともに歩んでこられました。近年このことをより広く伝えるものが環境配慮型の新社屋であり、すでに数千人が訪問されたと聞き及んでおります。さらに、この新社屋を中心に「ときはまフェス」が開催され、地域の方々が集い交流の場を持たれていることも特筆すべき点であると考えます。本年も 5 月に開催された同フェスに実際にうかがい、人々が笑顔に満ち溢れている姿を拝見し感動を覚えました。これを支える社長はじめ社員の皆様が献身的に運営されている姿も心に残りました。地域交流の場に加え、女子野球の存在、地元高校生や大学生の取り組み、また出店のお店などについても知る機会があり、会社が情報発信地になっていることも感じました。

加えて、SDGs をもとに社内外の課題に挑戦する姿は、他企業にも大きな刺激を与えようと考えます。SDGs や社是、社訓などが単なる掛け声になってしまうことも他社では散見される中、実践に繋がっていることは非常に重要なことです。私自身これまで 20 年以上にわたり、数多くの企業を研究対象に巡ってまいりましたが、ここまで愚直に地域の方々と交流に取り組まれている企業は数少ないことでしょう。こうした良い事例が地域に浸透し、好循環が生まれることを願ってやみません。これからも地域に根差した模範的企業の代表として今後の取り組みに期待しております。



編集後記

この度、当社のサステナブルな取組みを報告書形式で初めて発行させて頂くこととなりました。東京証券取引所の「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」の開示要求など上場企業はその社会性を報告する責任を有しますが、当社のような中小企業は努力要請されているわけではありません。しかしながら、建設業という公共性の高い仕事をさせて頂いていること、コミュニティを構成する一員として企業の社会課題に対する取組みの注視が高まっていること、これらのことから義務や要請の有無に関わらず「サステナビリティレポート」としてステークホルダーの皆さまへ定期報告をさせて頂く所存です。

さて、手前味噌ではございますが、SDGs の取組みについてご評価を頂く機会が多く、大変有難いことでございます。しかし、サステナブルな社会を実現するという大きな目的へは改善をすべきことが多々あります。また、その SDGs も完全なものではなく「SDGs ブーム」とも呼べるうねりに踊らされる危険性を自戒として認識する必要性も感じております。このレポートも紙面の関係上ポジティブな影響への記載が多く、ネガティブな影響への言及が不足しているのも事実です。それらを踏まえながら我々が大きな目的を見失わないための大きな力が、ステークホルダー皆さまのご意見です。そのため機会を積極的につくりだし、門戸を開き続ける企業でありたいと思います。「今よりも素晴らしい未来」を次世代へ繋いでいく、持続可能な社会の実現のため引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

常盤工業株式会社 社長室

高橋 脩夫



会社概要

会社名	常盤工業株式会社
創業	大正 15 年 4 月 (1926 年)
設立	昭和 26 年 3 月 (1951 年)
資本金	6,000 万円
代表者	市川浩透
本社	〒430-0911 静岡県浜松市中区新津町 197 番地
従業員数	103 名 ※役員除く。
事業内容	総合建設業 ◆建築／鉄筋コンクリート、鉄骨、木造、その他 ◆土木／一般土木、舗装、浚渫、水道施設、鋼構造物

発行者 常盤工業株式会社

発行日 令和 5 年 6 月 30 日

お問い合わせ先（社長室）

TEL 053-461-9155

